

# 足音

七月一日

石巻中一年

学年通信No.十九

編集・発行

鈴木 孝明

## 最後の舞台へ

今の三年生が一年生だったところ、それはまさにコロナ禍の混乱がピークでした。

私自身、前の学校で今と同じ立場で働いていたので、よく覚えています。

始業式は行ったものの、その翌日から即休校。学校が再開しても始めは分散登校で、全員そろっての本格的なスタートは六月からでした。

そういった日々の中、最も影響を受けたものの一つが部活動です。

一年生が入部できたのはこのくらいこの時期で、そして、その年に大会は行われませんでした。悔し涙をのむ三年生の姿は、メディアでも多く報道されていました。

その姿を一年生として見て、それから二年間、コロナ禍で制限を受けながらもがんばってきたのが、今の三年生です。

その三年生がこの週末、最後の大会へと向か

います。

同じ部の一員として、また、石巻中学生の後輩として、ここにかけろ三年生の思いの存在を知っていただければなりません。

部活ではもちろん勝利を目指します。コンクールでは最上位の入賞を目指します。しかし、本当に最後の最後まで、勝利で終わることができずチームはほとんどありません。厳密にいえばたった一チームです。

したがって、「勝利で終わる」ことは、達成目標とはなりません。

では、全てのチームに共通する達成しなければならぬ目標は何か。

それは、……。

最高の負け方をする。

全国で優勝するその一チーム以外の全てのチームは、最後、負けて終わります。だから、最高の負け方をするのが、どのチームも達成しなければならぬ目標です。

そして、最高の負け方をするには、全てを出し切って勝ち続けること。自分たちの最高に到達するまで、勝利をつかみとることです。そう

して、一日でも長く、このチームでの日々を過ごすことです。

今回の大会には、一年生のほとんどの人は、参加しません。もちろん、選手として出場する人は、今の自分にできるベストを尽くしてきてください。チームに帯同する人は、試合会場での全ての行動で、チームに尽くしてきてください。試合会場へ行けない人たちは、その場からエールを送りましょう。

三年生がのぞむ、最後の舞台。一年生は、一年生の立場で、できる限りのことを尽くしていきましょう。

## ☆ 連絡

部活動の大会については、チームでの参加以外で、個人で会場に行くことは禁止されています。また、他競技の応援にいくこともできません。市内統一のルールですので確実に守りましょう。

